

令和元年町民幸福度アンケート調査結果【概要版】

- 1 調査対象 町内に居住する20歳以上75歳以下の男女
- 2 調査対象者数 2,000人
- 3 抽出方法 年齢階層別均等配分による住民基本台帳からの無作為抽出
- 4 調査方法 設問票によるアンケート調査（郵送法）
- 5 調査時期 令和元年7～8月
- 6 有効回答率 50.3%（1,005票回答／2,000票送付）
- 7 回答者の属性

【男女別】	回答者数	割合
男性	447	(44.5)
女性	542	(53.9)
不明	16	(1.6)

【年齢別】	回答者数	割合
20～29歳	132	(13.1)
30～39歳	144	(14.3)
40～49歳	165	(16.4)
50～59歳	183	(18.2)
60～69歳	233	(23.2)
70歳以上	140	(13.9)
不明	8	(0.8)

【居住地別】	回答者数	割合
第一学区	208	(20.7)
第二学区	185	(18.4)
第三学区	188	(18.7)
第四学区	163	(16.2)
立谷沢地区	34	(3.4)
清川地区	30	(3.0)
狩川地区	184	(18.3)
不明	13	(1.3)

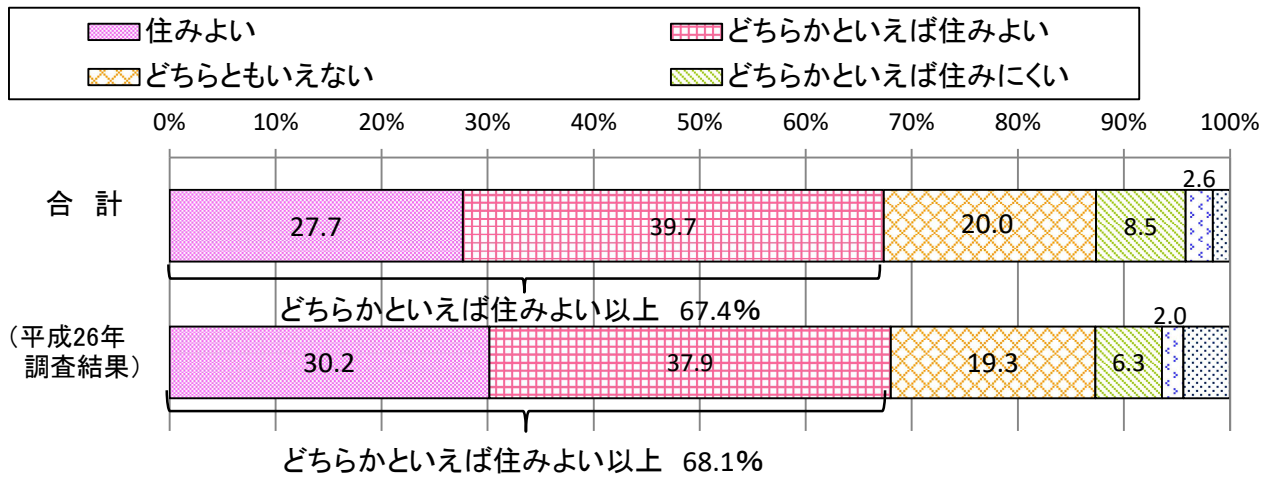
【職業別】	回答者数	割合
自営業主	86	(8.6)
家族従業者	34	(3.4)
会社役員・団体役員	44	(4.4)
正規雇用者	387	(38.5)
非正規雇用者	179	(17.8)
専業主婦(主夫)	79	(7.9)
学生	12	(1.2)
無職	144	(14.3)
その他	15	(1.5)
不明	25	(2.5)

()内は%

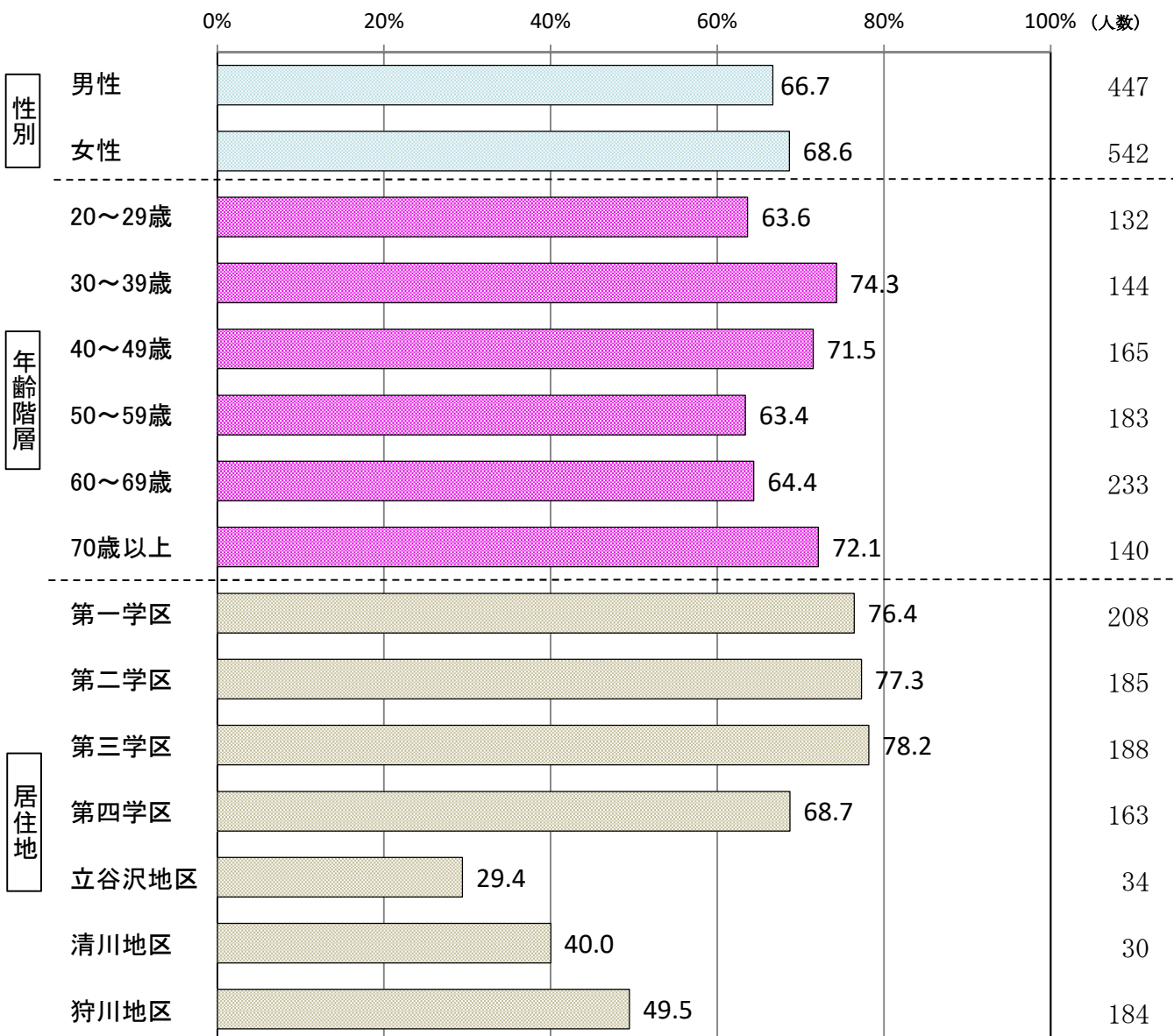
(注) 小数点第1位未満四捨五入の関係から、内訳の計が100%にならない場合があります。

問2 あなたにとって、庄内町は住みよいまちですか。

- 「住みよい」、「どちらかといえば住みよい」と回答した割合は67.4%でした。
「住みにくい」、「どちらかといえば住みにくい」と回答した割合は11.1%でした。
- 年齢階層別では50～59歳、60～69歳が、居住地別では立谷沢地区、清川地区、狩川地区が、それぞれ低い傾向にあります。
※20～29歳も低い水準にありますが、統計的に有意な差は確認できませんでした。
- 前回調査(平成26年)と比較すると、「住みよい」、「どちらかといえば住みよい」と回答した割合の差は確認できませんでした(横ばいでした)。

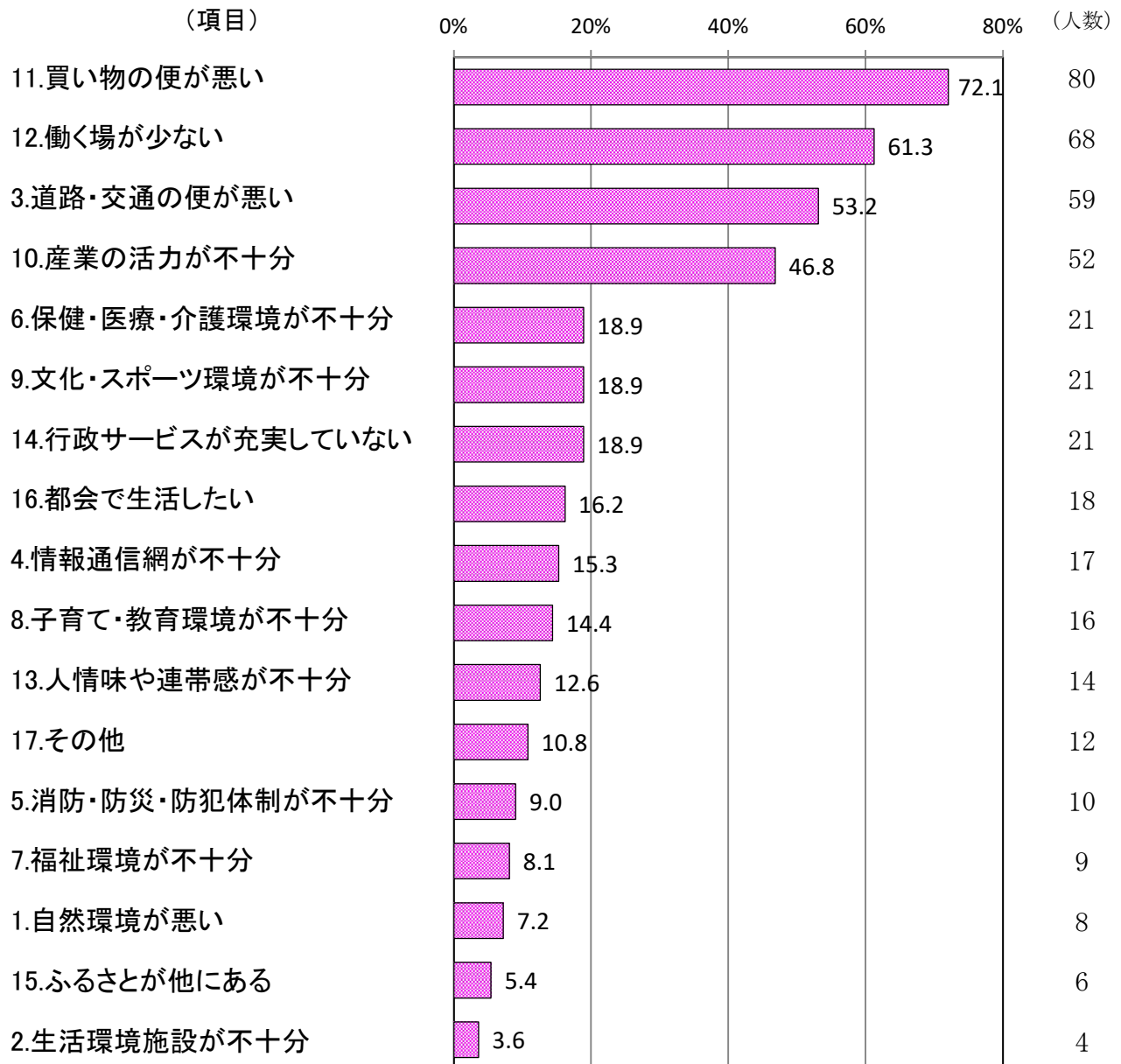


■性別、年齢別、居住地別の状況 ※「住みよい」+「どちらかといえば住みよい」の割合



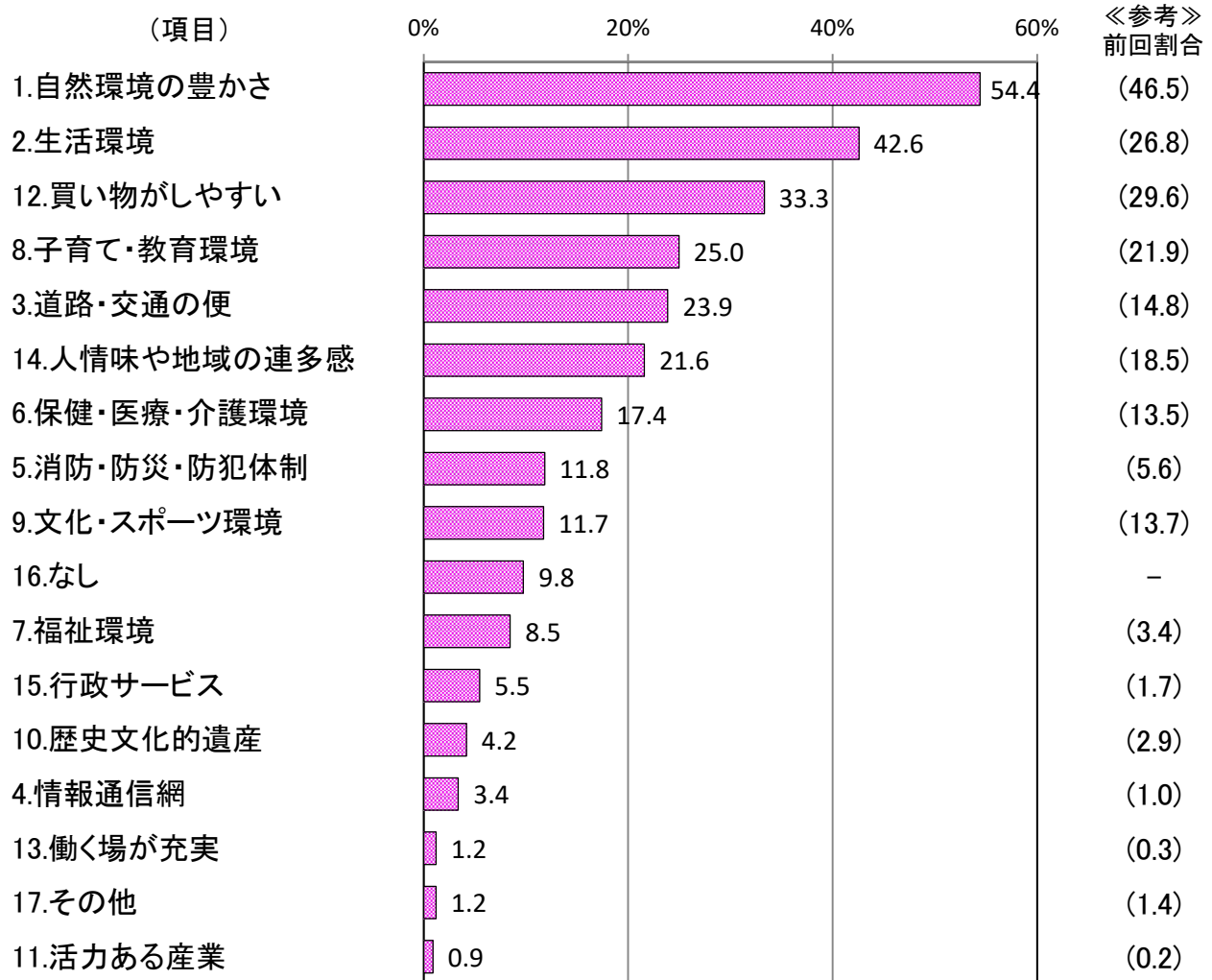
問2(付問) 問2で「住みにくい」または「どちらかといえば住みにくい」と回答した
 主な理由は何ですか。

- 問2で「住みにくい」または「どちらかといえば住みにくい」(以下「住みにくい等」という。)と回答した111人の中で、その主な理由として回答の割合が最も高かったのは「買い物の便が悪い」で、次いで「働く場所が少ない」、「道路・交通の便が悪い」でした。
- 回答者数が少ないこと、「住みにくい等」の回答割合は居住地別で偏りがあることなどから、結果の解釈には注意が必要です。



問3 あなたは、庄内町のどのようなところが魅力だと思いますか。

- 回答の割合が最も高かったのは、前回調査と同じ「自然環境の豊かさ」でした。
- 地域別では、第一、第二、第三学区で、「買い物がしやすい」が第1位となっており、地域ごとに順位の差がありました。



■性別、年齢別、居住地別の状況

		合計	1位	2位	3位
性別	男性	447	自然環境(53.7)	生活環境(48.1)	道路・交通(24.6)
	女性	542	自然環境(56.1)	買い物(41.3)	生活環境(38.9)
年齢	20～29歳	132	自然環境(64.4)	生活環境(28)	買い物(23.5)
	30～39歳	144	自然環境(55.6)	子育て・教育(38.2)	買い物(32.6)
	40～49歳	165	自然環境(49.1)	買い物(37)	子育て・教育(35.2)
	50～59歳	183	生活環境(50.3)	自然環境(48.6)	買い物(33.9)
	60～69歳	233	自然環境(54.5)	生活環境(54.1)	買い物(34.8)
	70歳以上	140	生活環境(64.3)	自然環境(60)	買い物(37.9)
居住地	第一学区	208	買い物(52.4)	生活環境(47.6)	自然環境(45.2)
	第二学区	185	買い物(51.4)	生活環境(49.2)	自然環境(43.2)
	第三学区	188	買い物(45.7)	自然環境(45.7)	生活環境(43.6)
	第四学区	163	自然環境(61.3)	生活環境(42.3)	子育て・教育(35)
	立谷沢地区	34	自然環境(91.2)	人情味・連多感(26.5)	生活環境(11.8)
	清川地区	30	自然環境(80)	生活環境(36.7)	歴史的文化的遺産(26.7)
	狩川地区	184	自然環境(70.1)	生活環境(38.6)	歴史的文化的遺産(7.6)

(注) ()は割合

問4 庄内町では、これまで庄内町総合計画に基づき、各分野にわたる様々な施策を進めてきました。

現状の満足度と、今後の重要度をおたずねします。

【重要度】

- 重要度の高い項目は、「雪への対策」、「ごみ処理」、「医療」の順となっており、②生活環境分野の項目が多くなっています。
- 重要度の低い項目は、「住宅整備」、「林業の振興」、「町営バス、路線バス等」となっており、①都市基盤・安全安心分野の項目が多くなっています。

重要度が高い項目

順位	重要度	分野	番号	項目
1	4.32	②	17	雪への対策
2	4.05	②	16	ごみ処理
3	4.04	③	20	医療
4	3.97	⑤	35	小中学校環境
5	3.97	①	7	防災・防犯体制

重要度が低い項目

順位	重要度	分野	番号	項目
45	3.15	①	4	住宅整備
44	3.22	④	28	林業の振興
43	3.24	①	2	町営バス、路線バス等
42	3.25	①	3	情報通信環境
41	3.29	⑥	45	町民参画・協働

※項目は設問文を要約して記載している。(以下、同様)

【満足度】

- 満足度の高い項目は、「ごみ処理」、「町営ガス事業」、「上下水道の整備」の順となっており、②保健・医療・福祉分野の項目が多くなっています。
- 満足度の低い項目は、「中心市街地」、「雪への対策」、「商業の振興」の順となっており、④産業分野の項目が多くなっています。

満足度が高い項目

順位	満足度	分野	番号	項目
1	3.91	②	16	ごみ処理
2	3.83	②	15	町営ガス事業
3	3.77	②	14	上下水道の整備
4	3.60	③	19	保健サービス
5	3.56	①	6	消防・救急体制

満足度が低い項目

順位	満足度	分野	番号	項目
45	2.58	①	5	中心市街地
44	2.66	②	17	雪への対策
43	2.68	④	29	商業の振興
42	2.76	④	30	工業の振興、企業誘致
41	2.78	④	32	雇用対策

【ニーズ度】

- 重視度から満足度を差し引いたニーズ度の高い項目は、「雪への対策」、「中心市街地」、「雇用対策」の順となっており、満足度が低い項目が多くなっています。
- ニーズ度が低い項目は、「国内外交流活動」、「町営ガス事業」、「住宅整備」の順となっており、⑤教育・文化分野や②生活環境分野の項目が多くなっています。

ニーズ度が高い項目

順位	ニーズ度	分野	番号	項目
1	1.66	②	17	雪への対策
2	0.89	①	5	中心市街地
3	0.88	④	32	雇用対策
4	0.87	④	29	商業の振興
5	0.86	①	1	高速交通網、道路の整備

ニーズ度が低い項目

順位	ニーズ度	分野	番号	項目
45	0.00	⑤	42	国内外交流活動
44	0.01	②	15	町営ガス事業
43	0.06	①	4	住宅整備
42	0.08	②	12	まちの景観
41	0.12	⑤	39	文化芸術環境

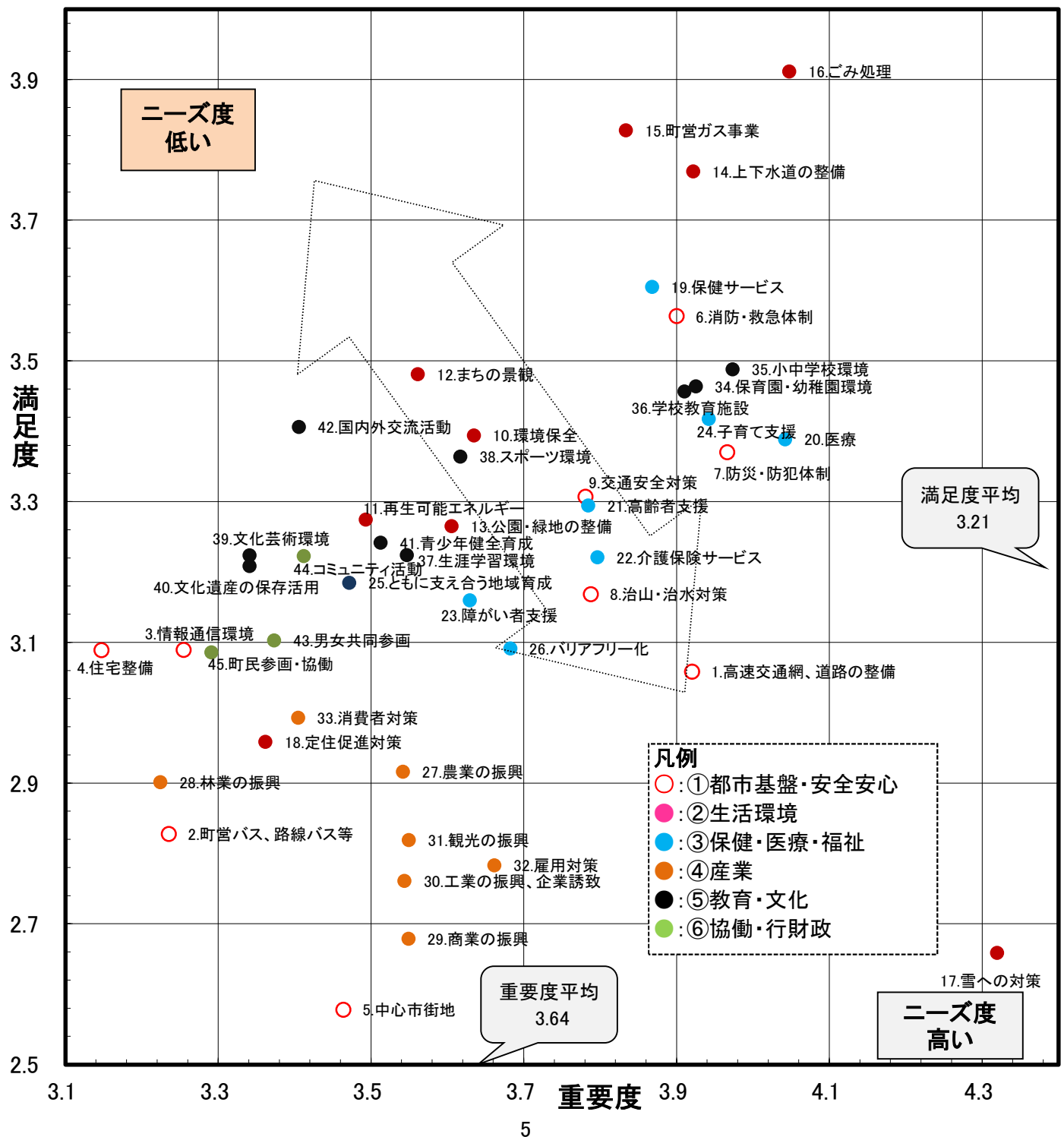
◆6つの分野

- ①都市基盤・安全安心分野
- ②生活環境分野
- ③保健・医療・福祉分野
- ④産業分野
- ⑤教育・文化分野
- ⑥協働・行財政分野

※ 重要度、満足度、ニーズ度の算出方法は、p7を参照のこと。

(参考1)問4の項目別の重要度と満足度の関係

- ニーズ度が最も高い「17.雪への対策」は、重要度が高い一方で満足度が低いため、ニーズ度が高くなっています。ニーズ度が次いで高い「5.中心市街地」などは、重要度はあまり高くありませんが、満足度が低いためニーズ度が高くなっています。
- ①都市基盤・安全安心分野、②生活環境分野は、施策ごとに満足度と重要度のばらつきが大きいいため、ニーズ度もばらつきが大きくなっています。
- ③保健・医療・福祉分野は、満足度、重要度ともに平均よりも高いものの、重要度の方がより高いため、ニーズ度も平均より高い施策が多くなっています。
- ④産業分野は、満足度、重要度ともに平均よりも低いものの、重要度の方がより高いため、ニーズ度は平均よりも高い施策が多くなっています。
- ⑤教育・文化分野は、施策ごとに重要度のばらつきが大きいものの、平均よりも満足度が高い施策が多いため、ニーズ度は平均よりも低い施策が多くなっています。
- ⑥協働・行財政分野は、重要度は低いものの、満足度は平均的な施策が多いため、ニーズ度が平均よりも低い施策が多くなっています。



(参考2) 問4の各調査項目のニーズ度の高い順

分野	No.	項目名	ニーズ度(=重要度-満足度)				(参考) 上段:重要度 下段:満足度				
			0.00	0.50	1.00	1.50	0.00	1.00	2.00	3.00	4.00
②	17	雪への対策	1.66				2.658	3.464	4.320		
①	5	中心市街地	0.886				2.578	3.662			
④	32	雇用対策	0.879				2.783	3.549			
④	29	商業の振興	0.870				2.679	3.920			
①	1	高速交通網、道路の整備	0.862				3.058	3.544			
④	30	工業の振興、企業誘致	0.783				2.761	3.550			
④	31	観光の振興	0.731				2.819	4.042			
③	20	医療	0.654				3.388	3.542			
④	27	農業の振興	0.626				2.916	3.788			
①	8	治山・治水対策	0.620				3.168	3.967			
①	7	防災・防犯体制	0.596				3.370	3.683			
③	26	バリアフリー化	0.591				3.091	3.797			
③	22	介護保険サービス	0.576				3.221	3.942			
③	24	子育て支援	0.525				3.417	3.785			
③	21	高齢者支援	0.490				3.294	3.973			
⑤	35	小中学校環境	0.485				3.488	3.781			
①	9	交通安全対策	0.474				3.307	3.629			
③	23	障がい者支援	0.470				3.159	3.925			
⑤	34	保育園・幼稚園環境	0.462				3.464	3.911			
⑤	36	学校教育施設	0.454				3.456	3.405			
④	33	消費者対策	0.412				2.993	3.235			
①	2	町営バス、路線バス等	0.408				2.827	3.362			
②	18	定住促進対策	0.403				2.958	3.606			
②	13	公園・緑地の整備	0.341				3.265	3.900			
①	6	消防・救急体制	0.337				3.563	3.224			
④	28	林業の振興	0.324				2.901	3.547			
⑤	37	生涯学習環境	0.323				3.224	3.472			
③	25	ともに支え合う地域育成	0.287				3.184	3.513			
⑤	41	青少年健全育成	0.271				3.241	3.373			
⑥	43	男女共同参画	0.271				3.102	3.868			
③	19	保健サービス	0.263				3.605	3.617			
⑤	38	スポーツ環境	0.253				3.364	3.635			
②	10	環境保全	0.241				3.394	3.493			
②	11	再生可能エネルギー	0.219				3.274	3.291			
⑥	45	町民参画・協働	0.206				3.086	3.412			
⑥	44	コミュニティ活動	0.189				3.223	3.255			
①	3	情報通信環境	0.166				3.089	3.922			
②	14	上下水道の整備	0.153				3.769	4.048			
②	16	ごみ処理	0.136				3.911	3.341			
⑤	40	文化遺産の保存活用	0.133				3.208	3.341			
⑤	39	文化芸術環境	0.118				3.224	3.561			
②	12	まちの景観	0.080				3.481	3.147			
①	4	住宅整備	0.059				3.089	3.834			
②	15	町営ガス事業	0.006				3.828	3.406			
⑤	42	国内外交流活動	0.000				3.406	3.406			

※満足度、重要度、ニーズ度の算出方法は、p7を参照のこと。

(参考3)問4の各調査項目一覧(重要度、満足度、ニーズ度得点)

6つの分野	No.	項目	重要度	満足度	ニーズ度
①都市基盤・安全安心分野	1	高速交通網、道路の整備	3.92	3.06	0.86
	2	町営バス、路線バス等	3.24	2.83	0.41
	3	情報通信環境	3.25	3.09	0.17
	4	住宅整備	3.15	3.09	0.06
	5	中心市街地	3.46	2.58	0.89
	6	消防・救急体制	3.90	3.56	0.34
	7	防災・防犯体制	3.97	3.37	0.60
	8	治山・治水対策	3.79	3.17	0.62
	9	交通安全対策	3.78	3.31	0.47
②生活環境分野	10	環境保全	3.63	3.39	0.24
	11	再生可能エネルギー	3.49	3.27	0.22
	12	まちの景観	3.56	3.48	0.08
	13	公園・緑地の整備	3.61	3.26	0.34
	14	上下水道の整備	3.92	3.77	0.15
	15	町営ガス事業	3.83	3.83	0.01
	16	ごみ処理	4.05	3.91	0.14
	17	雪への対策	4.32	2.66	1.66
	18	定住促進対策	3.36	2.96	0.40
③保健・医療・福祉分野	19	保健サービス	3.87	3.60	0.26
	20	医療	4.04	3.39	0.65
	21	高齢者支援	3.78	3.29	0.49
	22	介護保険サービス	3.80	3.22	0.58
	23	障がい者支援	3.63	3.16	0.47
	24	子育て支援	3.94	3.42	0.52
	25	ともに支え合う地域育成	3.47	3.18	0.29
	26	バリアフリー化	3.68	3.09	0.59
④産業分野	27	農業の振興	3.54	2.92	0.63
	28	林業の振興	3.22	2.90	0.32
	29	商業の振興	3.55	2.68	0.87
	30	工業の振興、企業誘致	3.54	2.76	0.78
	31	観光の振興	3.55	2.82	0.73
	32	雇用対策	3.66	2.78	0.88
	33	消費者対策	3.40	2.99	0.41
⑤教育・文化分野	34	保育園・幼稚園環境	3.93	3.46	0.46
	35	小中学校環境	3.97	3.49	0.49
	36	学校教育施設	3.91	3.46	0.45
	37	生涯学習環境	3.55	3.22	0.32
	38	スポーツ環境	3.62	3.36	0.25
	39	文化芸術環境	3.34	3.22	0.12
	40	文化遺産の保存活用	3.34	3.21	0.13
	41	青少年健全育成	3.51	3.24	0.27
	42	国内外交流活動	3.41	3.41	0.00
	43	男女共同参画	3.37	3.10	0.27
⑥協働・行財政分野	44	コミュニティ活動	3.41	3.22	0.19
	45	町民参画・協働	3.29	3.09	0.21
	平均			3.64	3.21

〔用語の説明〕

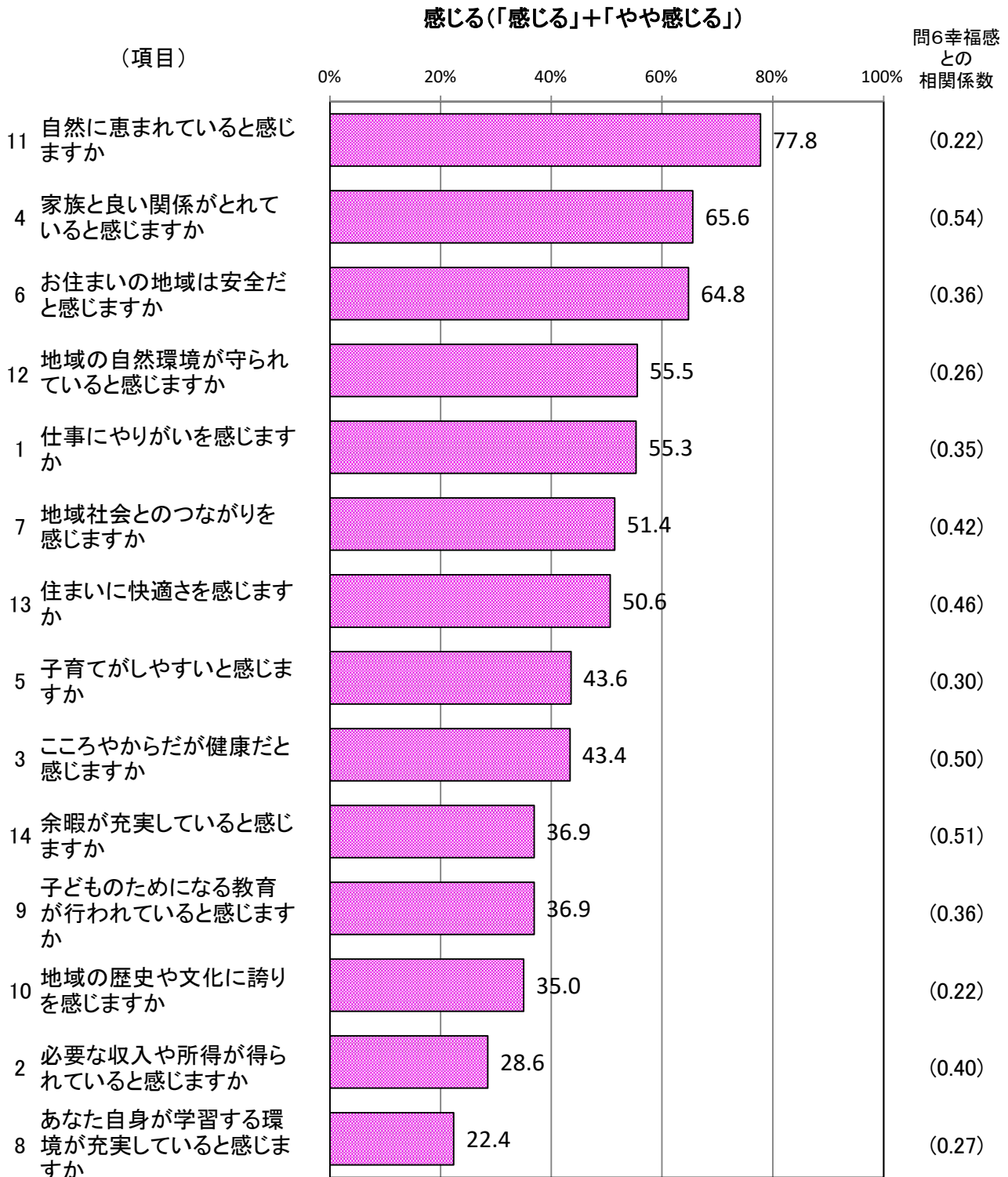
重要度(平均) : 「重要」を5点、「やや重要」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり重要でない」を2点、「重要でない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化したもの。

満足度(平均) : 「満足」を5点、「やや満足」を4点、「どちらともいえない」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化したもの。

ニーズ度 : 重要度(平均) - 満足度(平均)
(重要度が高く、住民の満足度が低い状態を(行政)ニーズが高いと読む)

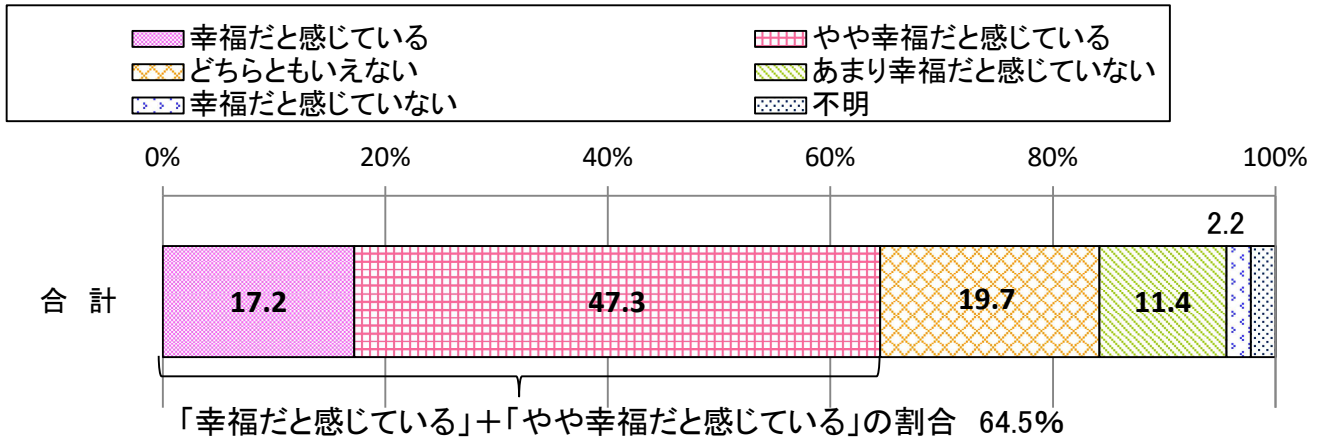
問5 現在のあなたの実感について、おたずねします。

- 幸福に関連する様々な実感について、感じる(感じる+やや感じる)の割合が最も高いのは、「自然に恵まれていると感じる」で、次いで「家族と良い関係がとれていると感じる」、「住まいの地域は安全だと感じる」でした。
- 問6「幸福感」との相関係数が最も高かったのは、「家族と良い関係がとれていると感じる」の0.54で、次いで、「余暇が充実していると感じる」の0.51、「こころやからだが健康だと感じる」の0.50でした。
- 「幸福感」との相関係数は、全ての設問が0.2以上となっていることから、14項目全ての実感は、幸福感と一定の相互関係があると考えられます。

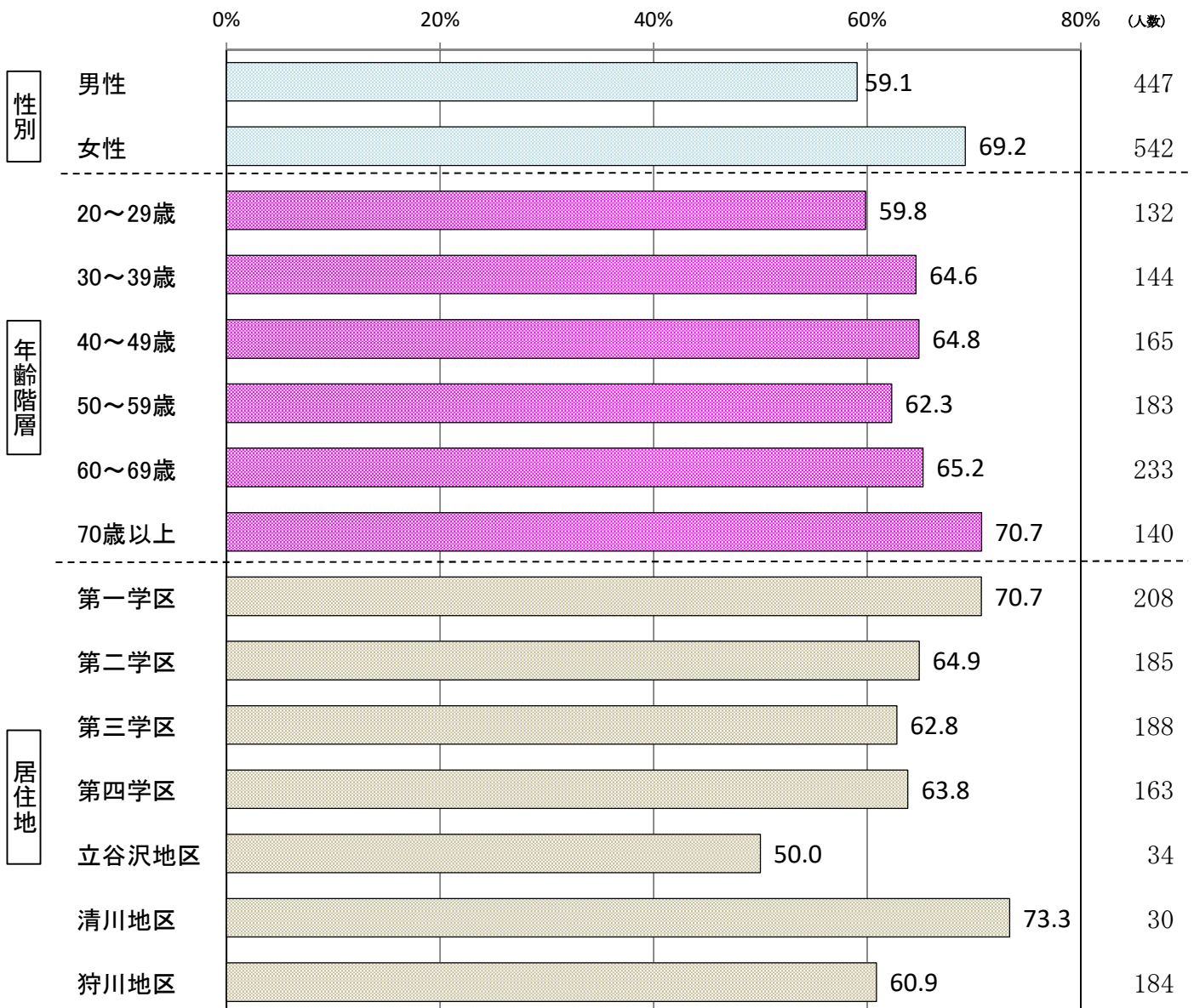


問6 あなたは現在、どの程度幸福だと感じていますか。

- 「幸福だと感じている」または「やや幸福だと感じている」と回答した人の割合は、64.5%でした。一方で、「幸福だと感じていない」または「あまり幸福だと感じていない」と回答した人の割合は13.6%でした。
- 性別では女性が、年齢階層別では70歳以上が高い傾向にあります。一方、居住地別では有意な差は確認できませんでした。
- 問2の「住みやすさの実感」との相関係数は0.33であったことから、幸福感は住みやすさの実感と一定の相互関係があると考えられます。

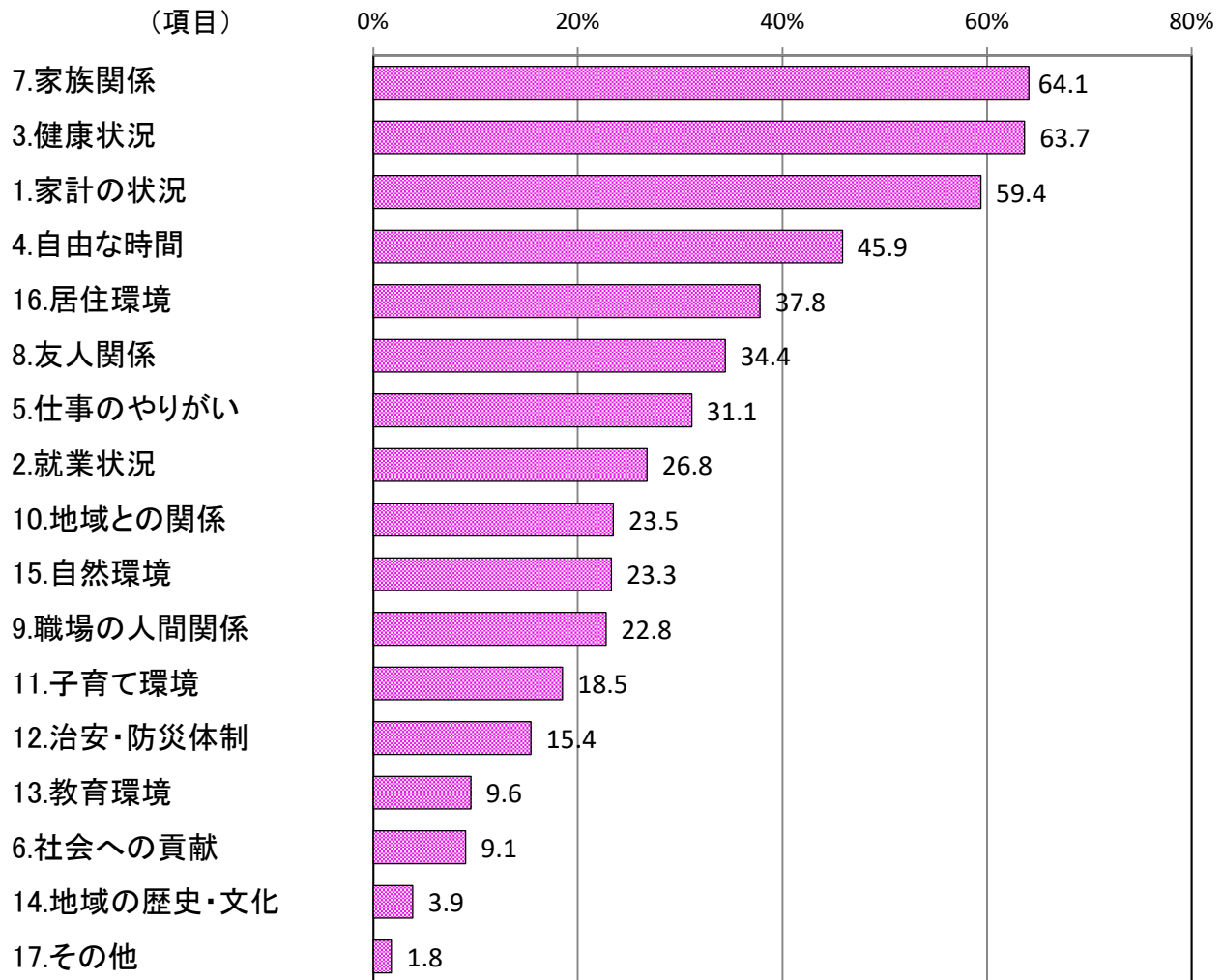


■性別、年齢別、居住地別の状況※「幸福だと感じている」+「やや幸福だと感じている」の割合



問7 あなたが幸福かどうか判断する際に重視した事項は何ですか。

○ 幸福かどうか判断する際に重視すると回答した割合が最も高いのは「家族関係」で、次いで「健康状態」、「家計の状況」でした。



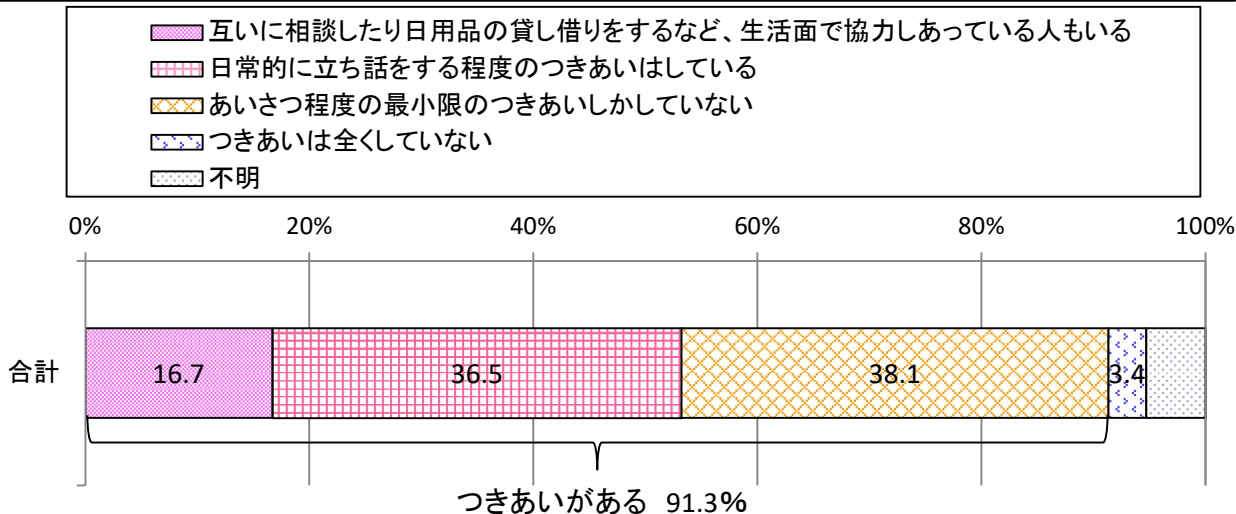
■性別、年齢別、居住地別の順位

		合計	1位	2位	3位
性別	男性	447	健康状況(64.7)	家計の状況(59.3)	家族関係(59.1)
	女性	542	家族関係(67.9)	健康状況(63.8)	家計の状況(59)
年齢	20～29歳	132	自由な時間(63.6)	家族関係(53.8)	健康状況(53)
	30～39歳	144	家族関係(69.4)	健康状況(60.4)	家計の状況(59.7)
	40～49歳	165	家族関係(67.3)	健康状況(66.1)	家計の状況(62.4)
	50～59歳	183	健康状況(70.5)	家計の状況(68.3)	家族関係(66.7)
	60～69歳	233	健康状況(68.2)	家族関係(64.4)	家計の状況(60.1)
	70歳以上	140	家族関係(60.7)	健康状況(59.3)	家計の状況(50)
居住地	第一学区	208	健康状況(68.8)	家族関係(61.1)	家計の状況(60.1)
	第二学区	185	家族関係(69.2)	健康状況(66.5)	家計の状況(55.7)
	第三学区	188	家族関係(68.1)	健康状況(62.2)	家計の状況(59.6)
	第四学区	163	健康状況(64.4)	家族関係(62.6)	家計の状況(60.1)
	立谷沢地区	34	健康状況(58.8)	自由な時間(50)	家計の状況(47.1)
	清川地区	30	健康状況(70)	家計の状況(63.3)	家族関係(56.7)
	狩川地区	184	家族関係(64.1)	家計の状況(63)	健康状況(57.6)

(注) ()は割合

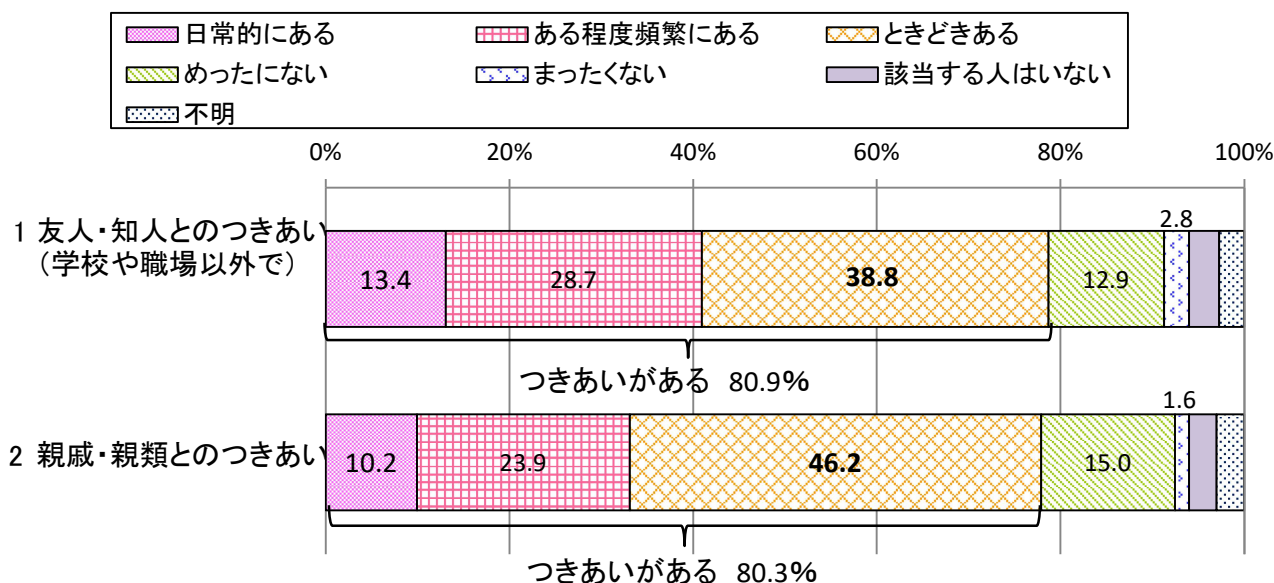
問8 あなたは、ご近所の方とどのようなおつきあいをされていますか。

- ご近所つきあいがある(「生活面での協力」、「立ち話程度のつきあい」、「あいさつ程度のつきあい」と回答した人の割合は、91.3%でした。
- そのうち「あいさつ程度のつきあい」と回答した割合が、38.1%と最も高くなっています。
- 付き合いの程度が高いほど、問2の「住みやすさの実感」が高く、問6の「幸福感」が高い傾向にあります。



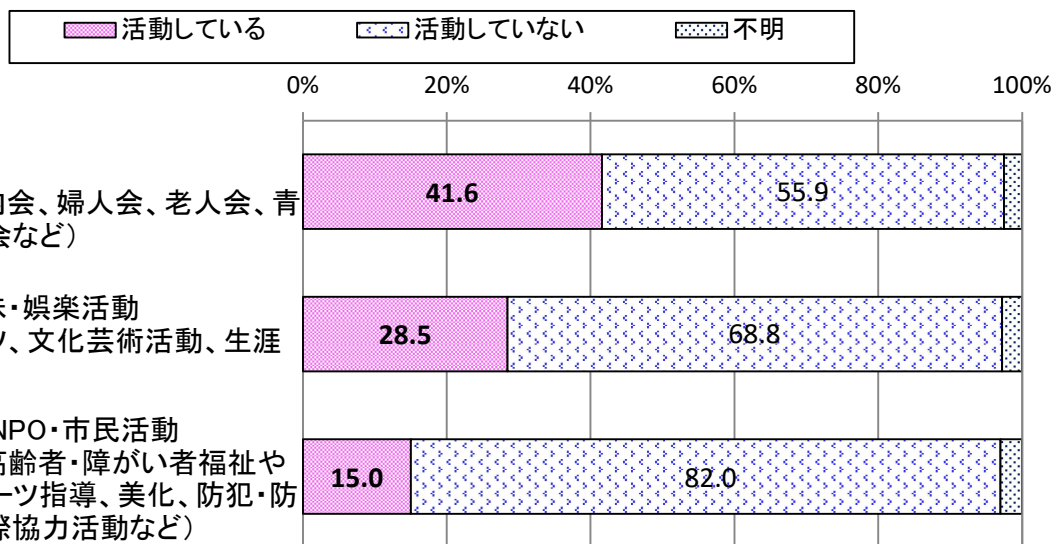
問9 あなたは、①友人・知人、②親戚・親類とどのようなおつきあいをされていますか。

- つきあいがある(「日常的にある」、「ある程度頻繁にある」、「ときどきある」と回答した人の割合は、「友人・知人」では80.9%、「親戚・親類」では80.3%でした。
- 友人・知人との付き合いの頻度が高いほど、問2の「住みやすさの実感」が高い傾向にありますが、親戚・親類との付き合いの頻度と住みやすさの実感の間の相互関係は確認できませんでした。
- 友人・知人との付き合いと親戚・親類との付き合いは、ともに頻度が高いほど問6の「幸福感」が高い傾向にあります。



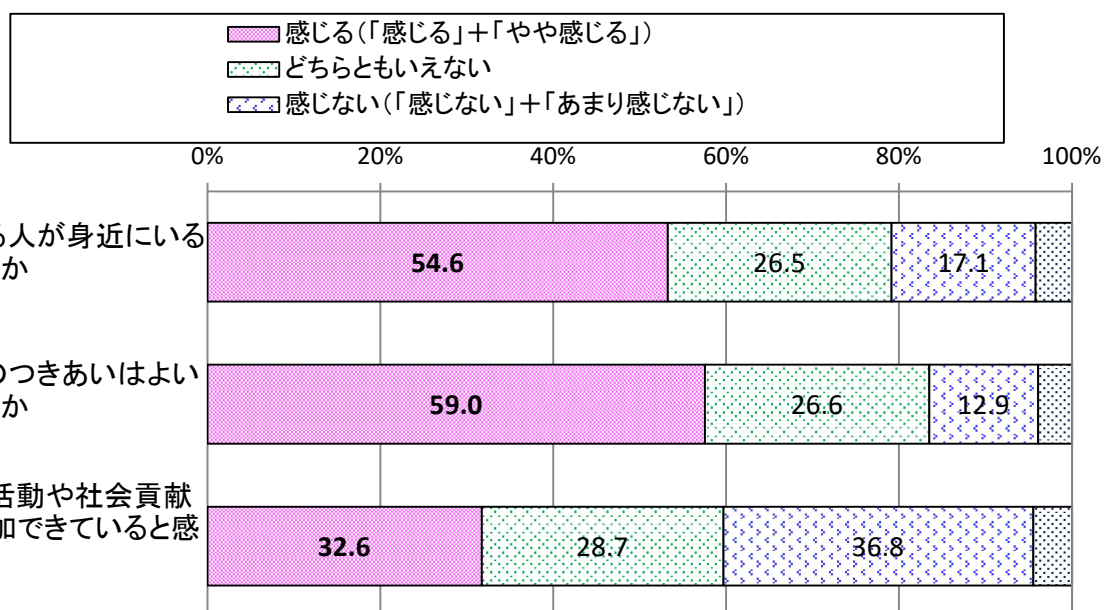
問10 あなたは現在、①地縁的な活動、②スポーツ・趣味・娯楽活動、③ボランティア・NPO・市民活動をされていますか。

- 地縁的な活動をしている人は41.6%、スポーツ・趣味・娯楽活動をしている人は28.5%、ボランティア・NPO・市民活動をしている人は15.0%でした。
- 地縁的な活動をしている人ほど、問2の「住みやすさの実感」が高い傾向にあります。一方で、スポーツ・趣味・娯楽活動やボランティア・NPO・市民活動と住みやすさの実感の間の相互関係は確認できませんでした。
- 地縁的な活動やスポーツ・趣味・娯楽活動をしている人ほど、問6の「幸福感」が高い傾向にあります。一方で、ボランティア・NPO・市民活動と幸福感の間の相互関係は確認できませんでした。



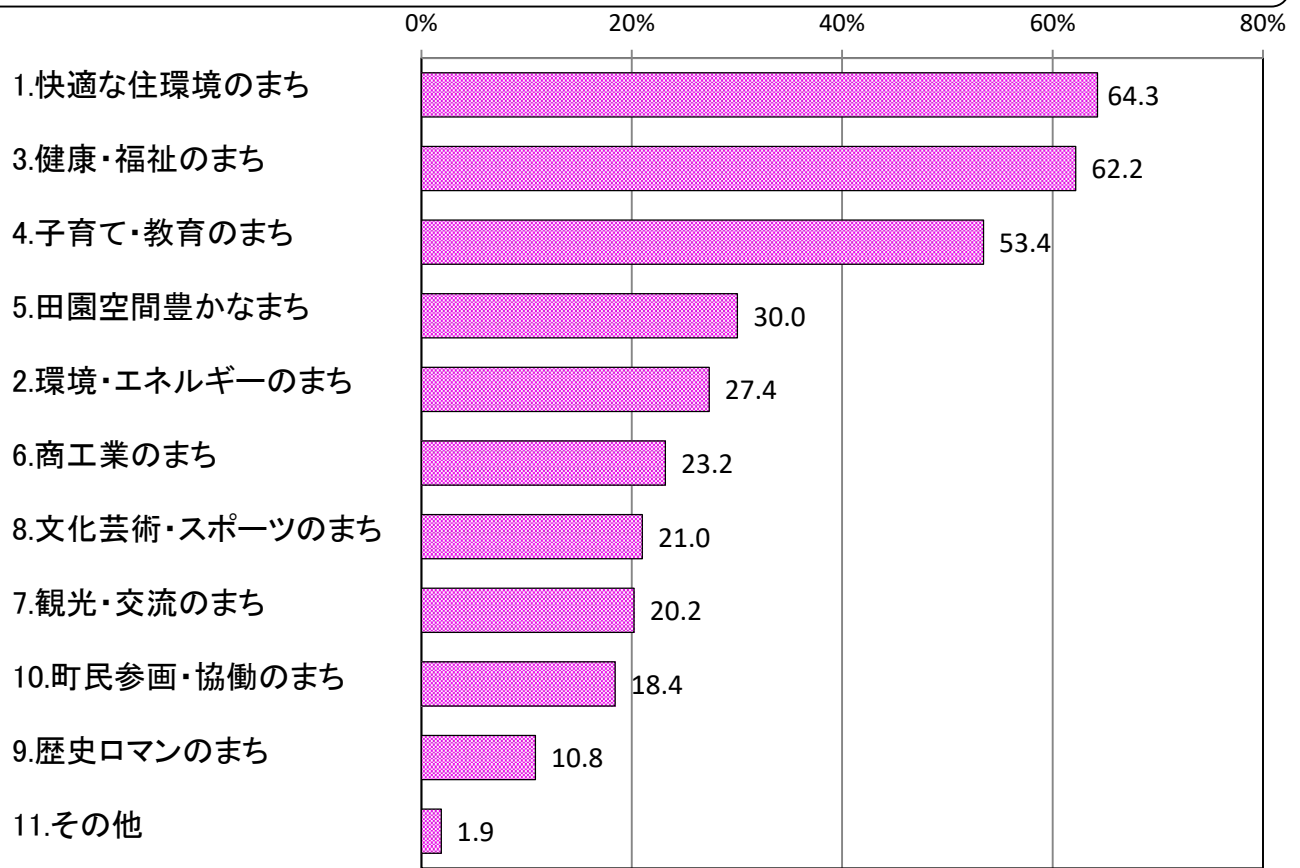
問11 あなたのお住まいの地域に対する実感をおたずねします。

- 地域への実感で、「感じる」または「やや感じる」と回答した方は、「信頼できる人が身近にいる」は54.6%、「近所付き合いはよい」は59.0%、「地域活動や社会貢献活動に参加できている」は32.6%でした。
- 問2の「住みやすさの実感」との相関係数は、「信頼できる人が身近にいる」と「近所付き合いはよい」がともに0.21であったことから、両者の実感と住みやすさの実感は一定の相互関係があると考えられます。
- 問6の「幸福感」との相関係数は、全ての実感が0.21～0.31であったことから、3つの実感と幸福感は一定の相互関係があると考えられます。



問12 庄内町をどのような特色あるまちにすべきだと考えますか。

○ 回答の割合が最も高かったのは「快適な住環境のまち」で、次いで「健康・福祉のまち」、「子育て・教育のまち」となりました。



■ 性別、年齢別、居住地別の順位

		合計	1位	2位	3位
性別	男性	447	快適な住環境(64.4)	健康・福祉(56.6)	子育て・教育(47)
	女性	542	健康・福祉(66.4)	快適な住環境(64.4)	子育て・教育(58.3)
年齢	20～29歳	132	快適な住環境(65.2)	子育て・教育(64.4)	健康・福祉(53.8)
	30～39歳	144	子育て・教育(68.1)	健康・福祉(54.2)	快適な住環境(52.1)
	40～49歳	165	快適な住環境(65.5)	健康・福祉(58.8)	子育て・教育(56.4)
	50～59歳	183	快適な住環境(73.2)	健康・福祉(65.6)	子育て・教育(55.2)
	60～69歳	233	健康・福祉(71.2)	快適な住環境(67.4)	子育て・教育(45.1)
	70歳以上	140	健康・福祉(62.9)	快適な住環境(58.6)	子育て・教育(36.4)
居住地	第一学区	208	健康・福祉(67.8)	快適な住環境(65.9)	子育て・教育(60.1)
	第二学区	185	快適な住環境(62.7)	健康・福祉(62.2)	子育て・教育(50.8)
	第三学区	188	健康・福祉(63.8)	快適な住環境(63.3)	子育て・教育(60.1)
	第四学区	163	快適な住環境(68.1)	健康・福祉(55.8)	子育て・教育(54.6)
	立谷沢地区	34	快適な住環境(64.7)	健康・福祉(58.8)	田園空間(47.1)
	清川地区	30	快適な住環境(73.3)	健康・福祉(66.7)	環境・エネルギー(43.3)
	狩川地区	184	快適な住環境(61.4)	健康・福祉(60.3)	子育て・教育(50.5)

(注) ()は割合

【留意事項】

- (1) 問2「住みやすさの実感」や問6「幸福感」など、5段階評価で把握する設問間の相互関係は相関係数で検証しており、相関係数が0.2以上を相互関係があると判断した。
- (2) (1)以外の設問間の相互関係は順序ロジットモデルで検証しており、説明変数のパラメータが5%水準で有意と判定された場合、目的変数と相互関係があると判断した。
なお、順序ロジットモデルでは、説明変数に問1で把握した回答者の属性を含めた。

～庄内町の未来計画のために～
町民幸福度アンケート調査報告書
【概要版】

令和2年1月

東北公益文科大学 地域イノベーション研究所